

議員についての政治倫理・資産公開に関する条例の制定状況

(平成 29 年 12 月 31 日現在) (単位: 市の数)

人口段階	政治倫理条例(資産公開の規定を含む)を制定している	政治倫理条例(資産公開の規定を含まない)と資産公開条例をそれぞれ制定している	政治倫理条例(資産公開の規定のみ)を制定している	資産公開のみを制定している
5万人未満 272	9 (3.3%)	0 (0%)	118 (43.4%)	0 (0%)
5~10万人未満 256	16 (6.3%)	1 (0.4%)	108 (42.2%)	0 (0%)
10~20万人未満 155	※取手市 改正前 (7.7%)	1 (0.6%)	※取手市 改正後 (35.5%)	0 (0%)
20~30万人未満 46	2 (4.3%)	0 (0%)	10 (21.7%)	0 (0%)
30~40万人未満 28	1 (3.6%)	0 (0%)	11 (39.3%)	0 (0%)
40~50万人未満 22	2 (9.1%)	1 (4.5%)	7 (31.8%)	0 (0%)
50万人以上 15	0 (0%)	0 (0%)	4 (26.7%)	0 (0%)
指定都市 20	3 (15.0%)	2 (10.0%)	0 (0%)	15 (75.0%)
全市 814	45 (5.5%)	5 (0.6%)	313 (38.5%)	15 (1.8%)

政治倫理・資産公開に関する要綱・規定の場合も含む
 全国市議会議長会ホームページ「市議会の活動に関する実態調査結果」より

市職員倫理条例の制定を求める決議: 可決

【提出者】 齋藤議員他2人

【内容】 平成30年第4回取手市議会定例会において「平成28年度決算、産業振興に要する経費、旅費、普通旅費の中の前備費から充用した項目について」の一般質問の中で明らかになった市長と市職員による「利害関係者」との会食は、市民に疑義を与える行動であり、大変遺憾である。

公務員に求められる倫理観は、非常に高いものであり、強く反省を求めるとともに、二度とこのようなことが起きないように、速やかに取手市職員倫理条例の制定を求める。

条例改正

定を求める。

政治倫理条例改正: 可否同数のため議長裁決により可決

【提出者】 山野井議員他5人

【改正内容】 資産等・所得報告書の作成及び提出義務等の対象から議員を除外するもの。

染谷議員: 取手市議会の議員は毎年、資産・所得報告をしているが、他の市町村では実施していないところも多く、それだけ取手は先進的。資産と所得報告で市民に透明性を示せるが、その機会を自ら失うことは大

変残念なこと。反対。

関戸議員: 資産・所得報告書は市民が疑念を抱いた際、疑念を晴らすため、また倫理審査会を求める上で重要。報告書が完璧でないなら、さらなる改正こそやるべき。開かれた議会として後退と市民に映る。反対。

池田議員: 報告書を改善する必要はあるが、作成・提出の必要がないとは考えていない。中身の精査と研究を行うべき。反対。

飯島議員: 議会の判断で廃止した後、市民要望で復活した議会もある。議員の報告のみを外す議論はまだ深まってなく、より適切な政治倫理や資産報告の在り方を市議会が見つめ直さなければならぬ。反対。

意見書

※議長の採決権と裁決権: 議長が出席議員に賛否の意思表示を求め、賛成・反対の多少を判断する権限を「採決権」といいます。採決の結果、可否同数となったときは、議長の「裁決権」によって可否を決定します。

意見書

国庫負担増額など国民健康保険制度の抜本的な改善を求める意見書: 否決

【提出者】 小池議員他1人
 加増議員: 国保加入世帯の4割が年金受給者で、高過ぎて払い切れない、引き下

げてほしいという声は切実。政府においては①国保税の均等割・平等割を廃止し、1兆円の公費投入を行うこと②保険税の免除制度の創設③自治体が親身に相談・取納活動に対応するよう行政指導を行うこと——以上を求める。賛成。

池田議員: 国庫負担の増額を求め、一人一人の個人負担が減ることは当然。また、保険料の免除制度をより充実する方向で抜本的に改善してほしい。国庫負担を増額し、保険税を下げることで一番の改善策。賛成。

遠山議員: 消費税が10%に増税されると市民の暮らし、地域経済、市も財政逼迫につながりかねない。免税農家は課税業者化等が余儀なくされる。大もうけしている大企業富裕層こそ増税し、消費税増税ではなく軍事費こそ削減すべき。賛成。

【提出者】 遠山議員他1人
 遠山議員: 消費税が10%に増税されると市民の暮らし、地域経済、市も財政逼迫につながりかねない。免税農家は課税業者化等が余儀なくされる。大もうけしている大企業富裕層こそ増税し、消費税増税ではなく軍事費こそ削減すべき。賛成。



市内の最新消防・救急車両と教育総合支援センターを総務文教常任委員会が視察

平成30年10月29日、総務文教常任委員会が最新の消防・救急車両の視察と、いじめ防止対策事業の運用状況を調査するため、戸頭消防署と市教育総合支援センターを視察訪問しました。

戸頭消防署では、最新機能を搭載した車両について、実物を見ながら視察をしました。実際の現場でのエピソードなどを交えた車両装備品の説明を受けました。

市教育総合支援センターでは、平成30年4月から新設された「いじめ



戸頭消防署の視察の様子

対策推進室」の運営状況や相談体制・相談受付状況等について説明を受け、また相談室等の施設内の状況も視察しました。質疑も活発に行われ、それぞれの事業運営について理解を深めました。

本会議の実況・録画映像を配信しています!!

取手市議会では、動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)を使用し、本会議の実況映像を配信しています。過去に開催された本会議の録画映像の視聴も可能です。

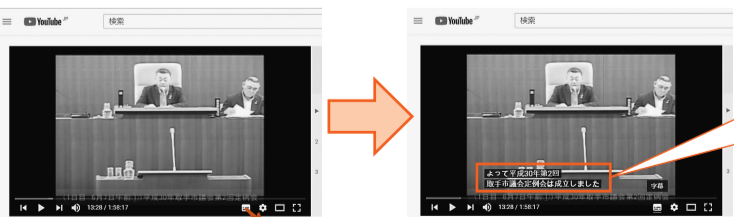
映像は下記サイトから視聴できます。

(市議会映像配信サイト URL) <http://www.toride-gikai.net/>

また、YouTubeの機能で、録画映像については音声認識による字幕表示の機能がお使いいただけます。

①動画配信サイトYouTubeから取手市議会公式チャンネルを開き、ご覧になりたい映像をお選び下さい。

②映像が再生されたら画面右下にある「字幕ボタン」をクリックすると、字幕が表示されます。



クリックすると

ここに字幕が追加されます

※なお、表示される字幕は音声の認識状況により、漢字表記等を含めて正確でない場合があります。